

(仮称) 論地どんぐり公園整備工事等です。

【議案第69号】

国民健康保険事業特別会計の総額に歳入歳出それぞれ4795万7千円を追加し、予算の総額をそれぞれ36億4407万4千円とするもの。

【議案第70号】

介護保険特別会計の保険事業勘定を歳入歳出それぞれ5268万6千円を追加し、予算の総額をそれぞれ23億7469万5千円とし、介護サービス事業勘定を歳入歳出それぞれ33万7千円減額し、予算の総額をそれぞれ1440万7千円とするもの。

【議案第71号】

水道事業会計の水道事業収益を14万4千円追加し、7億7336万8千円とし、水道事業費用を677万7千円減額し、7億2580万5千円とするもの。

請願・陳情

12月定例会にて請願1件、陳情9件が提出されました。

なお、請願・陳情の案件名称は、4ページの「議案等に対する各議員の態度」の件名欄をご参照いただき、合わせて本会議の場において採決された結果もご覧ください。

【請願第1号】

【反 対】 要介護者のサービスが市町村に移行されることが検討されている不確定な段階である。

高齢者が元気に過ごせるよう、高浜市は生涯現役のまちづくりの施策を進めている。

【賛 成】

市町村丸投げでは資格のない方が携わることになり、専門職のヘルパーとの関わりを奪うことは認知症の発見が遅れ、介護度が上がり、介護保険給付が増え、財政を圧迫する。

【陳情第7号】

【反 対】 滞納整理

機構に参加しないでくださいというが滞納整理機構は徴収実績を上げている。派遣職員の資質向上にもつながっている。消費増税を中止して下さいとあるが、増税した分を社会保障に充てることは理解できる。

【賛 成】

滞納整理機構については任意の団体であり、滞納整理機構に税の徴収事務を移管しないよう求めている。安心して暮らせる年金制度の確立を求める意見書の提出についても求められている。

【陳情第8号】

【反 対】 介護保険料は高いというのが介護保険料の多段階制では県下では劣らない。また、当市では妊婦検診は単独事業で継続している。

【賛 成】

生活保護の申請書を下さいと言わないと渡さないという事例があり、生活保護の水際作戦は行わないでくださいと訴えがある、また、その他、すべて賛同できる内容である。

【陳情第9号】

【反 対】 職場環境の改善だけでは不十分である。再雇用の仕組みなど潜在的看護師の活用を図る。超高齢社会を迎えて医療も増加している中では財源の問題が深刻である。

【賛 成】

本音の退職理由は職場環境が2番目、出産や育児と答えた方は1%というアンケート結果から、大幅増員と夜勤の改善により、労働環境を整えることが大切である。

【陳情第10号】

【反 対】 労働者の賃金に国が介入すべきでない。介護保険制度の見直しの議論が行われており、不確定の段階で賛否の姿勢を明確にすることはできない。

【賛 成】

介護職員の賃金は全労働者の平均賃金と10万円以上も低い実態で、他の仕事を選ぶことになり、処遇を改善しないと介護職員の離職者は減らない。

【陳情第11号】

【反 対】 財源の確保が必要であるから、消

費増税はやむを得ない。医師・看護師・介護職員の確保に影響をなくするために議論中である。

【趣旨採択】

さまざまなか対策を立てて医療、介護の質を向上させるために動いている。しかし、本陳情に理解できる部分もある。

【賛 成】

逆進性の強い消費増税を導入すると一層景気を冷え込ませ、コスト削減を余儀なくされ、医師・看護師・介護職員の確保に影響を及ぼすことになる。

【陳情第12号】

【反 対】 新制度実施の動きに反する意見書は課題の解決を阻害する。幼児教育や保育など、質、量ともに充実が目的である。

【賛 成】

子ども子育て支援新制度の目的は、保育・子育て分野を産業化することなどにあり、現行の保育所よりもゆとり基準の適用も検討されている。

5ページに続く。